

科目	数学B	学年	第2学年	開講	通年	必修	2 単位
----	-----	----	------	----	----	----	------

学習目標	数列，統計的な推測について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。
------	---

教科書：「高等学校 数学B」数研出版
副教材：「4プロセス 数学Ⅱ+B」数研出版

学習計画及び評価方法

a 知識技能

b 思考・判断・表現

c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点			
							a	b	c	
前期	数列	等差数列と等比数列	数列と一般項	・数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	4	中間	○			
			等差数列				○	○	○	
			等差数列の和		○		○			
			等比数列		○		○	○		
			等比数列の和		○					
		いろいろな数列	和の記号 Σ	・和の記号 Σ の表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする	6		○	○	○	
			階差数列				○	○		
			いろいろな数列の和		○		○	○		
		漸化式と数学的帰納法	漸化式	・数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	7		期末	○	○	○
			数学的帰納法					○	○	○
前期 授業評価										
後期	統計的な推測	確率分布	確率変数と確率分布	・確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	9	中間	○	○		
			確率変数の期待値と分散				○	○		
			確率変数の和と積		○					
			二項分布		11		○	○	○	
			正規分布				○	○	○	
		統計的な推測	母集団と標本	・母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	12		○	○	○	
			標本平均の分布				○	○		
			推定		2		○			
			仮説検定				3	○	○	
			後期 授業評価							

評価の観点	・ 数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか。 ・ 事象を数学的に考察し，表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決できるかどうか。
-------	---

評価の決め方 ○知識・技能：定期考査 ○思考・判断・表現：定期考査・レポート ○主体的に学習に取り組む態度：ワークショップ型授業・レポート
